報道関係各位

2026 年 11 月 13 日
一般財団法人 ASAGI Labs

国際学会「HLMC 2026」を 11 月 18 日～20 日に東京で開催

最先端のロンジェビティ研究と社会実装、日本古来の「養生」の知恵をつなぐ国際ネットワークの場へ

Healthy Longevity and Medicine Conference 2026

― ASAGI Labs とシンガポール国立大学（NUS）の連携により第 2 回を東京で開催。
国内外トップ研究者の基調講演、徳川家広氏による家康公に学ぶ「養生」講演、
ロンジェビティ・スタートアップ 10 社によるピッチを実施 ―

一般財団法人 ASAGI Labs（代表理事：早野 元詞）は、シンガポール国立大学医学部 Healthy Longevity Translational Research Programme （ NUS Medicine HLTRP ） 、 SAKRA （ Society for Advancing Knowledge in Rejuvenation and Ageing）、SARA（Science Alliance for Research in Asia）と共同で、国際学会「Healthy Longevity and Medicine Conference 2026（HLMC 2026）」を、2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金）の 3 日間、順天堂大学 7 号館 小川講堂（東京都文京区本郷）にて開催します。2025 年に NUS で開催した第 1 回に続き、第 2 回となる今回は東京での開催となります。

テーマは「Quantifying Aging: AI and Aging Clocks in Precision Health」。AI や Aging Clock（老化時計）をはじめとする最先端のロンジェビティ研究と、その成果を医療・産業・社会へ届ける社会実装、そして『養生訓』に代表される日本古来の健康長寿の知恵を一つの場で結び、国内外の研究者、医療機関、企業、スタートアップ、投資家、政策関係者による国際ネットワークを構築する機会として開催します。

プログラムの詳細および参加登録は、公式ウェブサイトにて受け付けております。

公式ウェブサイト：https://www.hlmconference.com/

参加登録：https://www.hlmconference.com/registration

HLMC 2026 の 3 つの見どころ

見どころ①　最先端のロンジェビティ研究 ― 国内外のトップ研究者による基調講演

阿部 高明 教授（東北大学）、須田 年生 教授（中国医学科学院・北京協和医学院）、Dean Ho 教授（NUS）、Chong Yap Seng 教授（NUS 医学部長）による基調講演に加え、岡野 栄之 教授（慶應義塾大学）、Brian Kennedy 教授（NUS）による特別講演を実施。

見どころ②　日本古来の知恵 ― 徳川家広氏による講演「The Art of Health and Happiness: Learning from Shogun Tokugawa Ieyasu」

徳川宗家第 19 代当主・徳川家広氏が、江戸の泰平の世を開いた徳川家康公の思想や知恵を手がかりに、日本の伝統的な健康長寿の知恵と、家族や社会の長寿にも視点を広げ、世界に向けて語ります（11 月 18 日）。

見どころ③　社会実装 ― 3 日目「Startup Showcase」でロンジェビティ・スタートアップ 10 社がピッチ

日本発および海外発のスタートアップが、老化の可視化、診断、再生医療、食・素材などの事業を発表。審査・表彰と、投資家・事業会社・支援機関によるパネルディスカッションを実施します（11 月 20 日）。

1. 開催の背景と目的 ― 老化を「測り」、研究を社会につなぐ

近年、老化を避けられない現象としてではなく、科学的に理解し、介入しうる対象として捉える研究が世界的に進展しています。AI による大規模データ解析や、生物学的年齢を推定する Aging Clock などの技術によって老化を定量的に捉え、一人ひとりに合わせた予防や医療（プレシジョン・ヘルス）へとつなげる取り組みが広がりつつあります。一方で、こうした研究成果を実際の医療・ヘルスケアサービスや製品として社会に届けるためには、アカデミアと企業、スタートアップ、投資家、行政が国境を越えて連携することが不可欠です。

世界有数の長寿国であり、超高齢社会に直面する日本は、老化研究、再生医療、予防医療において重要な研究基盤を有するとともに、「養生」に代表される健康長寿の文化を古くから育んできました。日本独自の研究成果や医療技術、超高齢社会と向き合う中で積み重ねてきた社会実装の経験、そして伝統的な健康観を国際的な議論の場で発信していくことは、世界のロンジェビティ研究の発展にとっても大きな意義を持つと考えています。

HLMC 2026 では、基礎研究から臨床、産業応用、政策までを横断するプログラムを通じて、日本の研究者や企業が世界の最新動向に触れ、海外の研究者・機関・スタートアップとの連携を築く場を提供します。会期中は、国内外の研究者・学生など 200 名以上の参加を見込んでいます。

2. ASAGI Labs と NUS の連携 ― 日本とシンガポールをつなぐ国際プラットフォーム

HLMC は、ASAGI Labs と NUS Medicine HLTRP の連携のもと、日本とシンガポールを軸にアジアのロンジェビティ研究と産業をつなぐ国際プラットフォームとして立ち上げられました。2025 年 11 月にシンガポール国立大学で初開催され、第 2 回となる今回は東京に舞台を移して開催します。

本学会では、NUS から医学部長の Chong Yap Seng 教授、Dean Ho 教授による基調講演、NUS Medicine HLTRP を牽引する Brian Kennedy 教授による特別講演をはじめ、多数の NUS の研究者が登壇します。また、NUS の起業支援拠点である NUSX BLOCK71 Japan も 3 日目のパネルディスカッションに参画し、研究成果の事業化・社会実装を日本とシンガポールの両面から後押しします。日本・シンガポールに加え、中国、韓国、オランダなどからも研究者が参加し、アジアから世界へ広がるネットワークの形成を目指します。

3. 見どころ① 最先端のロンジェビティ研究 ― 基調講演・特別講演

3 日間を通じて、老化研究、再生医療、デジタル医療の分野で世界をリードする研究者が登壇します。

- **阿部 高明 教授**（東北大学大学院医工学研究科・医学系研究科／AMED ムーンショット型研究開発事業プログラムマネージャー）　11 月 18 日（水）9:20〜
- **須田 年生 教授**（中国医学科学院・北京協和医学院 血液学研究所 幹細胞生物学）　11 月 19 日（木）13:00〜
- **Dean Ho 教授**（NUS Provost's Chair Professor／Institute for Digital Medicine（WisDM）所長／生体医工学科長）　11 月 19 日（木）15:20〜
- **Chong Yap Seng 教授**（NUS Yong Loo Lin 医学部 学部長／シンガポール RIE Grand Challenge「Maximising Healthy and Successful Longevity」エグゼクティブ・ディレクター）　11 月 20 日（金）10:50〜
- **【特別講演】岡野 栄之 教授**（慶應義塾大学）「iPS 細胞を用いた再生医療と創薬」　11 月 19 日（木）11:30〜
- **【特別講演】Brian Kennedy 教授**（NUS）「NUS Medicine Healthy Longevity Translational Research Programme の研究ハイライト」　11 月 20 日（金）10:20〜

このほか、代謝、老化制御、幹細胞・エピジェネティクス、老化の多様性、老化の予測、免疫・アレルギーの各セッションにおいて、国内外の研究者が最新の研究成果を発表します。若手研究者セッションやポスターセッションも実施し、次世代の研究者と第一線の研究者が交流する機会を設けます。

4. 見どころ② 徳川家広氏による講演「The Art of Health and Happiness: Learning from Shogun Tokugawa Ieyasu」

初日の 11 月 18 日（水）15:00〜16:00 には、徳川宗家第 19 代当主であり、公益財団法人徳川記念財団理事長を務める徳川家広氏が、「The Art of Health and Happiness: Learning from Shogun Tokugawa Ieyasu」と題して講演します。

講演の中心は、江戸幕府を開き、二百五十年を超える平和の礎を築いた徳川家康公です。家康公は、自らの健康と養生に深い関心を払った人物としても知られ、その日々の習慣は、歴史家の関心を集めてきました。本講演では、一つの逸話に絞るのではなく、歴代将軍をはじめとする歴史上の人物の生涯をたどりながら、当時の人々にとって健康や長寿が何を意味したのか、そして、多くの病が治せなかった時代に、医療はどこまで力になり得たのかを考えます。

家康公に象徴される、こうした「身を養う」ことへの関心は、将軍家や武家の内にとどまらず、やがて江戸の社会全体へと広がっていきました。家を絶やさず受け継ぐこと、世の中の安定を保つこと。そうした考え方が、人々の生き方や、他者をいたわる姿勢を形づくっていたのです。その流れの先に、1713 年（正徳 3 年）、儒学者・本草学者の貝原益軒が、晩年に著した健康指南書『養生訓』があります。飲食は満腹の手前で控える、日々よく身体を動かす、休養と睡眠を整える、怒りや憂いに振り回されず心を穏やかに保つ。心と身体の節度とバランスを重んじる知恵が、平易な言葉で説かれ、300 年以上を経た今も読み継がれています。

『養生訓』が説く食事の節度、運動、睡眠、心の持ち方は、いずれも現代の老化研究において、代謝や炎症、エピジェネティクスなどを介して健康寿命との関わりが研究されているテーマです。講演の結びでは、長く生きること、よく生きることとは何かを、一人ひとりとしてだけでなく、社会の一員として、会場の皆さまとともに考えます。AI や Aging Clock によって老化を「測る」最先端の科学と、日々の暮らしの中で健康を「養う」日本の伝統的な知恵。両者を結びつけ、科学的エビデンスと文化的知見の双方からこれからのロンジェビティのあり方を考える、HLMC 2026 ならではのセッションです。

5. 見どころ③ 3 日目「Startup Showcase」— ロンジェビティ・スタートアップによるピッチ

最終日の 11 月 20 日（金）午後には、研究成果の社会実装を担うスタートアップに焦点を当てた「Startup Showcase」を開催します。オープニングでは、スポンサーである株式会社 Rhelixa によるプレゼンテーションに続き、iPS 細胞由来の心筋細胞による再生医療に取り組む Heartseed 株式会社 取締役 COO の安井 季久央氏が招待講演を行います。

続くスタートアップ・ピッチでは、日本発のスタートアップに加え、海外発のスタートアップを含む計 10 社が登壇し、生物学的年齢や Aging Clock による老化の可視化、腸内フローラ解析、アルツハイマー病の早期診断・治療、器官再生、カイコを活用した次世代タンパク質素材、再生医療を支えるバイオ素材など、ロンジェビティ領域の多様な事業を発表します。各社のピッチは審査員により審査され、閉会時に表彰を行います。

ピッチ後のパネルディスカッションでは、ASAGI Labs Ventures、NUSX BLOCK71 Japan、株式会社博報堂 DY ホールディングス、デロイト トーマツ、GlobalDeal の登壇者が、ロンジェビティ領域におけるスタートアップの成長と日本・アジアからのグローバル展開、事業会社や投資家との共創のあり方について議論します。

登壇予定スタートアップ（登壇順）

No.	企業名	登壇者
1	ekei labs K.K.	Founder & CEO　Bilal Kharouni 氏
2	株式会社サイキンソー（Cykinso, Inc.）	Founder　Aya K. Takeda 氏
3	Morus 株式会社（Morus Inc.）	CEO　Ryo Sato 氏

No.	企業名	登壇者
4	AlzMed, Inc.	Researcher　Niki Sedghi 氏
5	aeon.science	Co-founder　Eric Jing Mockler 氏
6	株式会社オーガンテック（OrganTech, Inc.）	Representative Director & COO　Yoshitake Yamaguchi 氏（Ph.D.）
7	LiveBeyond / BeyondClock	Co-Founder & CEO　Julie Ying Baron 氏
8	Signal Clinic	Founder / CEO　Asher Miller 氏
9	HALOS Biosciences	CEO　Dr. Dominique Darvas
10	Avenyx Bio	Founder　Parth Shinde 氏

※登壇企業・登壇者は変更となる場合があります。

6. プログラム概要

日程	主なプログラム（会場：小川講堂 1 階）
Day 1 11/18（水）	開会挨拶／歓迎挨拶（順天堂大学 学長 代田 浩之 教授） 基調講演：阿部 高明 教授（東北大学） General Speaker Session／スポンサーセッション（森永製菓、明治）／代謝（Metabolism） 講演：徳川 家広 氏「The Art of Health and Happiness: Learning from Shogun Tokugawa Ieyasu」（15:00〜16:00） 若手研究者セッション／ポスターセッション／ネットワーキング・レセプション
Day 2 11/19（木）	老化制御（Regulation of Aging）／幹細胞・エピジェネティクス 特別講演：岡野 栄之 教授（慶應義塾大学）「iPS 細胞を用いた再生医療と創薬」 基調講演：須田 年生 教授（中国医学科学院・北京協和医学院） 老化の多様性（Diversity of Aging） 基調講演：Dean Ho 教授（NUS） 老化の予測（Prediction of Aging）／ポスターセッション
Day 3 11/20（金）	免疫・アレルギー（Interface Immunology and Allergy） 特別講演：Brian Kennedy 教授（NUS）／基調講演：Chong Yap Seng 教授（NUS 医学部長） アワード授賞式 Startup Showcase：オープニング、スタートアップ・ピッチ（10 社）、パネルディスカッション、表彰・閉会

※プログラムは 2026 年 11 月 11 日時点のものです。最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。

7. アジアのロンジェビティ・コミュニティ形成に向けて

HLMC が目指すのは、年に一度の国際学会を開催することだけではありません。日本とシンガポールをはじめとするアジアの研究者、大学、医療機関、企業、スタートアップ、投資家、政策関係者が継続的に交流し、国や専門分野の垣根を越えた研究・事業共創を生み出す国際コミュニティを形成することです。ASAGI Labs、SAKRA、NUS Medicine HLTRP、SARA の 4 団体が共同で開催するのも、こうした継続的な連携の基盤を築くためです。本学会を通じて、以下の取り組みにつなげてまいります。

- 国際共同研究の促進
- 研究者・企業・スタートアップ・投資家間の国際ネットワーク構築
- 研究成果の産業応用・社会実装
- 日本の伝統的な健康観と最先端科学の融合による、アジア発のロンジェビティ・イノベーションの創出
- 国際的な人材交流と次世代研究者の育成

ASAGI Labs が事務局を務める「ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム」においても、HLMC への参加機会の提供を通じて、参画企業・自治体・アカデミアと国際コミュニティとの接点づくりを進めてまいります。

8. 開催概要

- 名称：Healthy Longevity and Medicine Conference 2026（HLMC 2026）
- 会期：2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金）（3 日間）
- 会場：順天堂大学 7 号館 小川講堂（1 階）　※ポスター展示：1 階ホワイエ
- 所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷 2-1-1
- アクセス：JR 御茶ノ水駅（御茶ノ水口）徒歩 7 分／東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 徒歩 7 分／東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅（B1 出口）徒歩 9 分
- テーマ：Quantifying Aging: AI and Aging Clocks in Precision Health
- 共催：一般財団法人 ASAGI Labs、SAKRA、NUS Medicine Healthy Longevity Translational Research Programme、SARA
- 協賛：【プラチナ】株式会社明治、森永製菓株式会社／【ゴールド】フォーネスライフ株式会社、ロート製薬株式会社／【シルバー】株式会社博報堂 DY ホールディングス／【スタートアップパッケージ】株式会社 Rhelixa
- サポーター：東京理科大学
- 参加規模：国内外の研究者・学生など 200 名以上（見込み）
- 公式ウェブサイト（プログラム詳細・参加登録）：https://www.hlmconference.com/
- 参加登録：https://www.hlmconference.com/registration

9. お問い合わせ先

一般財団法人 ASAGI Labs ／ ASAGI Labs ロンジェビティ・コンソーシアム事務局
Web：https://asagilabs.or.jp/
国際カンファレンス（HLMC）：https://www.hlmconference.com/
E-mail：info@asagilabs.or.jp

以上